

## 低温の話

気象庁が発表する注意報の中に「低温注意報」があり、低温による農作物の被害（冷夏の場合も含む）や水道管の凍結・破裂による著しい被害が発生する恐れがあるときに発表します。

具体的な発表基準は季節によって異なり、宗谷地方では、5月から10月までは平均気温が平年より5℃以上低い日が2日以上継続、11月から4月までは最低気温が平年より8℃以上低いと予想する場合に発表します。

天気予報で「寒波」を耳にすることが多い時期です。広い地域に2～3日、またはそれ以上にわたって顕著な気温の低下をもたらすような寒気が到来すると「寒波が襲来」などと言われます。広い範囲で低温になり、大抵の場合は雪を伴い、大雪や吹雪によりさまざまな災害をもたらします。

大雪や猛吹雪などで自動車が立ち往生し救援までに時間がかかる場合、燃料が少なくて暖がとれなくなる恐れや、暖房使用時に排気ガスが車内に入る危険もあります。気象情報を活かして危険を回避していただくほか、もしものときのために毛布などを常備することも有効です。

お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話：0162-23-2679

## 地域おこし協力隊通信

vol.26

冬になると、トナカイ観光牧場のトナカイたちは俄然<sup>がぜん</sup>元気になるります。世間やメディアでもクリスマスシーズン到来ということで、サンタクロースとトナカイに注目が集まります。そんな冬のトナカイ観光牧場、トナカイのことを少し紹介します。

そり引きのトナカイたちは、バスツアー（週に2、3回）、一般のお客さん、こども園・保育所のクリスマス会、イルミネーション点灯式などのそり引きに大忙しでした。

一方、ホロベーくんも、札幌ドームのイベントや北海きたえーるでのバスケットボールの試合会場、稚内でのサンタランに登場し、屋内で子ども用そりを引いたり外を歩いたり、トナカイに負けずに活躍しました。この冬は札幌ドームやバスケットボールBリーグにデビューできたので、次はサッカーのJリーグや札幌雪まつりにデビューし、幌延町のことを宣伝できたらよいなと考えています。

放送・メディア関連では、Webサイトに掲載用の収録や取材がありました。一昨年のピザ屋さんのトナカイデリバリーに続いて、この冬もトナカイたちはメディアにたくさん登場しています。

ある収録が一段落した休憩時間、普段は外で作業している



るのであまり入ることのないレストラン・ポロで素敵なものを見つけました。それはレストランの窓から見える雪景色です。遠くの雪に覆われた木々、風もなくしんと降る雪、人の入り込んだ跡のない雪原。そこには少し暗くなりはじめた午後3時すぎの静かなゆったりとした時間が流れていました。ここに雪の中で遊んでいるトナカイの姿があったら幌延ならではの景色になるのにな、と思いました。（←こんな感じで）

これからも幌延でなければ得ることのできない“もの・こと”のひとつとして、景色・景観を探していこうと思っています。

地域おこし協力隊 丸田